

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 5年 3月31日

宮崎市長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町上田島1389  
名 称 佐土原小学校区地域づくり協議会  
代表者の氏名 会長 上田 克彦  
電話番号 0985-74-3471

令和4年 5月27日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第19条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書又は収支決算見込書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) 積立金管理状況報告書
- (ホ) その他

(様式第6号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算書

佐土原地域自治区

佐土原小学校区地域づくり協議会

1 総括

年間計画の事業運営にあたり、コロナ感染予防対策をしながら殆どの行事を実施してきました。地域づくりが主催した事業や他団体との共催事業にも地域住民の積極的参加もあり市民の交流の場として寄与したと考えます。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	1,076,600	1,076,600	0	
繰越金	530,774	530,774	0	
			0	
合計	1,607,374	1,607,374	0	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	子ども見守り隊事業	14年目	20,000	19,701	▲ 299	
防	防災訓練事業	2年目	20,000	2,800	▲ 17,200	
福	高齢者世帯への奉仕事業	14年目	20,000	19,910	▲ 90	
福	認知症サポート事業	6年目	30,000	10,800	▲ 19,200	
福	福祉施設訪問事業	12年目	10,000	2,400	▲ 7,600	
環	里山保全事業	14年目	90,000	69,247	▲ 20,753	
再	佐土原歴史観光発信事業	9年目	242,374	172,887	▲ 69,487	
健	健康づくり事業	13年目	130,000	48,283	▲ 81,717	
伝	伝統文化伝承事業	14年目	100,000	2,400	▲ 97,600	
教	学校との連携に関する事業	14年目	140,000	81,866	▲ 58,134	
教	協議会講座	3年目	50,000	37,610	▲ 12,390	
他	広報事業	14年目	235,000	177,901	▲ 57,099	
他	佐土原のまつり活性化事業	12年目	370,000	320,747	▲ 49,253	
他	イルミネーション事業	8年目	150,000	151,434	1,434	
繰越金			0	489,388	489,388	
合計			1,607,374	1,607,374	0	

### 3 実施報告

#### 防犯・防災に係る事業

事業名	子ども見守り隊事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち 小学校児童の安全安心に寄与し、子供と大人が触れ合えるまちづくりに努める</p>														
目的 (期待される効果)	<p>登下校時に見守り活動を各地区老人クラブやボランティアの皆様と協働で実施し児童の安全を図る。</p>														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の登校時と下校時は道路の要所の交差点に立ち、児童の安全と親睦を図る。</li> <li>見守りの老人クラブ会員・地域のボランティアメンバーは見守り用の秋冬用ジャンパーや春夏用ベスト、帽子を着用する。</li> </ul> <p>*コロナ禍で小学校からの登下校時間案内を自治会長へ毎月適宜配布した。</p> <p>登校時 毎朝 7時15分～8時 主要交差点にて登校見守り (本町交差点・東春田交差点・小学校陸橋そば他)</p> <p>下校時 毎日 小学校予定表にて 東春田交差点 本町交差点 水曜日 各地域の主要交差点中心(老人クラブ)</p>														
事業費	19,701円														
対象者	小学生、老人クラブ他														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>320人</td> <td>290人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>342人</td> <td>312人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	320人	290人	スタッフ	22人	22人	合 計	342人	312人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	320人	290人													
スタッフ	22人	22人													
合 計	342人	312人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時子供たちに話しかけることができ、やりがいを感じている。学校のできごとなども話してくれる。</li> <li>毎年卒業時見守りの人へ6年間お世話に成りましたの挨拶をしてくれる小学生の行動感激します。</li> </ul>														

◆自己評価（評価：  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
	本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A	小学校より下校時間予定表を頂き自治会長に毎月配布している  老人会の全面的な協力を得ている
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	老人会・地域住民と小学校児童の交流に役立っている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A	小学校児童保護者、地域住民は児童の安全が守られていると十分満足している。
	④各種団体との連携	A	A	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;  小学生児童の安全安心が守られている。  （見守りGrに応急医療セットを配布し対応していただいている）  小学校から地域づくり協議会を通じて児童の下校時刻が月別に届けられている。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
	<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
	<意見への対応>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### 防犯・防災に係る事業

事業名	地域防災訓練事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和4年度	終了：	年度
地域魅力発信 プランとの関連	<基本目標> ・住民が安心、安全に住める町づくり		
目的 (期待される効果)	・災害時迅速に対応出来る体制の構築を行う		
事業内容・手段	佐土原小学校区地域づくり協議会と関係ある自治会長会、民生委員の方を中心に座学と体験型訓練を実施計画予定		
事業費	2,800円		
対象者	佐土原小学校区地域づくり役員、自治会長、民生委員		
参加者数 (内訳)	(1)防災講座・1回目市危機管理課と計画するもコロナ禍で中止となる。 ・交流センターの防災訓練に参加(令和5年2月7日)		
	年度	令和4年度	令和3年度
	地域づくり	6人	—
	自治会	3人	—
	民生委員	4人	—
	講座参加者	26人	—
	合計	39人	—
住民の声(アンケートの結果等)	何時も利用してる交流センターの防火施設の取り扱い方法(消化栓、消火器)や避難行動などの習得を実施した。		

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握		—	講座参加者と一部役員 のみの参加でした。	広報	⑤事業の周知		—	今年度はなし。
	②住民の参加		—	講座参加者のみ			事業の 効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性		—	コロナ禍で地域住民の参加なしでの実施で残念でした。	事業の 効果	⑦住民の満足度			
	④各種団体との連携	—		一部の関係者のみでした。				有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### 地域福祉に係る事業

事業名	高齢者世帯への奉仕事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	＜基本目標＞ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち 高齢者が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。														
目的 (期待される効果)	・一人暮らしの高齢者を訪問し、心の交流を図り相互に色々な情報（健康、家族の近況、困りごと）などお喋りをする事で何らかの励みに繋がっていると思う。														
事業内容・手段	・環境福祉部員が、民生委員や福祉協力員・自治会長などと一緒に、70歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問する。  期間 令和4年12月～令和5年1月中 訪問 18地区 171戸														
事業費	19,910円														
対象者	佐土原小学校区全域の70歳以上の一人暮らし高齢者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>171人</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>182人</td> <td>204人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	171人	183人	スタッフ	10人	21人	合 計	182人	204人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	171人	183人													
スタッフ	10人	21人													
合 計	182人	204人													
住民の声（アンケートの結果等）	毎年定期的に慰問していただき、心待ちにされている。 粗品のタオルとメッセージカードが袋に入っており部員からの激励の文章や言葉掛けに大変喜ばれています。														

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各地区担当の民生委員または自治会長、地域の老人クラブ会長と共に部員が一戸一戸訪問しているので、皆さん大変喜ばれている。	広報	⑤事業の周知	A	A	環境福祉部員がそれぞれに自治会長・民生委員、老人会会長に連絡を取り訪問している。
	②住民の参加	A	A	民生委員・自治会長、老人会会長にも同行してもらい訪問している。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	一人暮らし高齢者に大変喜ばれている。高齢の見守りもできている。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	環境福祉部員 自治会長会 民生委員会と連携し訪問に同行してもらっている			事業継続の必要性		○有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 一人暮らし高齢者の方は、外に出る機会も少なく、地域の近況など話すことで大変喜ばれている。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済		

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



### 3 実施報告

#### 地域福祉に係る事業

事業名	認知症サポート養成講座	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成28年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち 佐土原も高齢者が増え認知症の方も増えてくると思われる中、対応訓練をすることにより安全安心のまちづくりに寄与していくことの事業</p>														
目的 (期待される効果)	<p>今後、増えるであろう高齢者の認知症による徘徊行動を察知し対応できる人材の育成を行い早期の発見、対応により人命の救済に結び付ける。</p>														
事業内容・手段	<p>令和4年6月29日(水) 19:00~20:40 場所 佐土原地区交流センター学習室 実務対応をされてる介護施設はなまる縁の方に講師として講和を頂き模擬認知症者と救助者による寸劇をして頂き対応の仕方を学びました。</p>														
事業費	10,800円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>40人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>14人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>54人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	平成30年度	一般参加者	40人	44人	スタッフ	14人	6人	合 計	54人	50人
年 度	令和4年度	平成30年度													
一般参加者	40人	44人													
スタッフ	14人	6人													
合 計	54人	50人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>参加者20人から講座のアンケート回答を頂きました。周りに認知症患者さんらしき人に対しては患者さんの思いをわかって心に寄り添い丁寧に話を聞いてあげる事が大事です。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	高齢の認知症が増える現在、早期発見と対処法を学ぶことは必要である。	広報	⑤事業の周知	A	—	回覧文書を各自治会へ配布と広く介護施設職員に幅広く公募を行う。
	②住民の参加	A	—	自治会・地域づくり・介護施設に回覧文書を回して参加者募集を依頼した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	異常に気付き対処法を多くの地域住民が学ぶことは重要と考える。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	—	赤十字、包括支援センター、社協、警察など協力を要請している。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>さどわらに介護施設を持たれ県内各地に出かけ認知症対応講座を開かれている方々の寸劇やビデオを通じQ&amp;A方式による進め方で大変分かり易かった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応		未・済	
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応		未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### 地域福祉に係る事業

事業名	福祉施設訪問事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち高齢者が急増しており、この人たちの幸せを考えると楽しく過ごせる環境作りを考える必要がある。住みよいまちづくりに関連した事業。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>福祉施設を訪問し、ゲームや歌を一緒に楽しむことによって交流を図る。施設入所者へ楽しい時間を提供する。</p>														
事業内容・手段	<p>福祉施設訪問 令和4年度7月14日(木)14時～15時 明照デイサービスへ環境福祉部員11名で参加慰問実施予定でしたが、コロナ禍の為施設より辞退の要望あり中止とした。</p>														
事業費	2,400円														
対象者	施設入所者、デイサービス利用者の高齢者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明照利用者</td> <td>一人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>一人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>一人</td> <td>57人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	明照利用者	一人	46人	スタッフ	一人	11人	合 計	一人	57人
年 度	令和4年度	令和3年度													
明照利用者	一人	46人													
スタッフ	一人	11人													
合 計	一人	57人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	A	明照デイサービスでは、歌、踊り、ゲームなどいろいろやって、最も喜ばれるものに重点を置いている。	広報	⑤事業の周知	—	A	環境福祉部員への参加を要請している。	
	②住民の参加	—	A	施設入所者と環境福祉部員の交流事業			事業の効果	⑥課題解決への作用		—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	—	A	高齢者が急増しており、少しでも多くの人に楽しく過ごせる環境作りを考える必要がある。		⑦住民の満足度			—	A
	④各種団体との連携	—	A	明照福祉会と連絡を取り、訪問日時を決めている。			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### 環境に係る事業

事業名	里山保全事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： 年度													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と共生し快適に暮らせるまち</li> <li>郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</li> </ul> <p>明日の上田島地区”歴史の町佐土原”を考えてやっている。宝塔山公園は地区民の憩いの場所であり、やがてはここが町民の核となってまちおこしにつながるようにしたい。</p>														
目的 (期待される効果)	市立宝塔山公園の維持管理に参加し草刈り、清掃などを実施する。公園整備をすることにより地域住民へ憩いの場所を提供する。														
事業内容・手段	<p>「愛・さどわら宝塔山」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備 令和4年10月15日(土) 8時30分～11時30分</li> <li>・活動 令和4年10月16日(日) 8時30分～11時30分</li> <li>・場所 宝塔山公園</li> <li>・内容 草刈り、草集め、ゴミ拾いなど</li> </ul> <p>*中学生のボランティアはコロナ禍で不参加</p>														
事業費	69,247円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>32人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>18人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>50人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	32人	26人	スタッフ	18人	9人	合 計	50人	35人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	32人	26人													
スタッフ	18人	9人													
合 計	50人	35人													
住民の声 (アンケートの結果等)	散歩コースとして利用していますが皆様の活動があるから快適な環境下で安心して利用できているのかと思うと感謝してるとの声あり。														

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	日頃から宝塔山公園愛護会が住民の声を聞いており、これと一体的に事業を行っている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧文書作成 自治会配布。
	②住民の参加	A	A	公園の草刈作業に多くの住民が参加できるよう、作業内容や方法に工夫を凝らしている。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	日ごろから宝塔山公園愛護会が住民の声を聞いておりやるべきことをはっきりさせているので、これと一体的に事業を行っている。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	宝塔山公園愛護会（毎月定期的に活動して頂いてる）			事業継続の必要性	有・無	
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>公園内のベンチの老朽化が進む中、板をばらし、全てにカンナがけを行い新規に作成したかのように蘇った。座りたくなるベンチとなる。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

地域再生に係る事業

事業名	佐土原歴史観光発信事業	実施年数	9年目															
事業期間	開始：平成26年度	終了： 年度																
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち 佐土原の歴史を発信し観光浮揚を目指す</p>																	
目的 (期待される効果)	<p>(2) 史跡整備 佐土原の歴史を発信し観光浮揚を図る。 佐土原町内の住民に佐土原町内の歴史を詳しく知らせることは、佐土原を愛することになると思われる。 佐土原を訪れた人にまた訪れたいと思われてリピートにつながると思える。</p> <p>(3) 佐土原城址等整備 佐土原城址の整備は今まで放置されていたが「続日本100名城」に選ばれて以来県内外から訪問者も多く佐土原の観光に寄与する。</p>																	
事業内容・手段	<p>(2) 史跡整備 野田泉光院、弓削筑前の墓1回、自得寺コース1回、一里坂・自得寺整備1回 野田泉光院・宝坂入口整備1回 計4回作業をした。 佐土原を訪れた人たちに佐土原の歴史をわかるようにし、今後も続ける。</p> <p>(3) 佐土原城址整備等 *佐土原城址 時期 令和5年2月12日(日) 9:00~12:00 場所 城跡登城山道、天守台 内容 市民・町民に広く参加を呼び掛け竹の片付け 雑草の除去 佐野原聖地、堤地区桜並木 草刈りを各2回</p>																	
事業費	172,887円																	
対象者	地域住民 歴史・観光目的佐土原来訪者																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>(城跡整備) 43人</td> <td>(城跡整備) 一人</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>(史跡整備) 6人</td> <td>(史跡整備) 一人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>57人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	(城跡整備) 43人	(城跡整備) 一人	一般参加者	(史跡整備) 6人	(史跡整備) 一人	スタッフ	8人	15人	合 計	57人	人
年 度	令和4年度	令和3年度																
一般参加者	(城跡整備) 43人	(城跡整備) 一人																
一般参加者	(史跡整備) 6人	(史跡整備) 一人																
スタッフ	8人	15人																
合 計	57人	人																
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>佐土原城址を歴史発信・観光発信の核にするためもっと整備していきたい。 天守閣があったところまでの山道、手すり作成、東屋のベンチ磨き、天守閣からの下界が見えるよう開放した。今後は南の城、松尾丸、東屋等相対的な早期整備をお願いします。</p>																	

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	A	佐土原町内の住民に佐土原町内の歴史を詳しく知らせることは、佐土原を愛することになると思われる。	広報	⑤事業の周知	A	A	城跡整備は回覧文書を作成し自治会に協力依頼。看板作製は広報誌に写真・歴史内容を掲載し周知を図る
	②住民の参加	B	A	佐土原城址の整備は規制項目が多く一朝一夕にはいかない。自治会に依頼して地域住民にも呼びかける。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	県内外からの観光客が佐土原に見えることで地域の経済に少しでも寄与している。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	佐土原歴史同好会 鶴松館ガイドの会や市民福祉課、文化財課の協力を得ている			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>佐土原城跡整備は「続日本100名城」にも掲載され県内外からの訪問が多い中、今年度は中の道～天守台までの手すりの交換、東屋のベンチ中心に清掃を行った。天守台からの眺望が出来るように西都方面を切り開いた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応		未・済	
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



### 3 実施報告

#### 健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり事業	実施年数	13年目																								
事業期間	開始：平成22年度	終了： 年度																									
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;活気があふれ、生き生きと働けるまち 佐土原町民が男女年齢を問わず参加できるよう十分配慮しそれぞれの適応能力、適応年齢、地区力など配慮した事業運営をする。</p>																										
目的 (期待される効果)	連帯意識の高揚と健康な体作りをめざして明るく豊かな地域づくりをする。																										
事業内容・手段	<p>(1) ふれあいミニバレーボール大会 時期 令和4年11月27日(日)10時～16時 会場 宮崎市西体育館・佐土原地区交流センター 内容 *新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止。</p> <p>(2) ウオーキング大会 時期 令和4年6月5日(日)花しょうぶまつりに合わせて実施した。 内容 町内6寺巡り 時間 10時～12時30分</p>																										
事業費	48,283円																										
対象者	地域住民																										
参加者数 (内訳)	<p>(1)ふれあいミニバレーボール大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 花しょうぶまつり ウオーキング大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>32人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>5人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>37人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合 計	—	—	年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	32人	—	スタッフ	5人	—	合 計	37人	—
年 度	令和4年度	令和3年度																									
一般参加者	—	—																									
スタッフ	—	—																									
合 計	—	—																									
年 度	令和4年度	令和3年度																									
一般参加者	32人	—																									
スタッフ	5人	—																									
合 計	37人	—																									
住民の声 (アンケートの結果等)	ふれあいミニバレーボール大会は、ボールにコロナ菌が付着し感染対策が困難という声があり中止とした。一方ウオーキングは宝塔山桜まつりから花しょうぶまつりに変更し開催しマスク着用でお寺を散策と言うことで実施した。																										

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	—	事業まえに多数の声を聴き判断とした。	広報	⑤事業の周知	A	—	広報紙、ポスター自治会班回覧等で実施した。
	②住民の参加	B	—	ウォーキングは小雨の中多数の参加者がある。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	多くのまちづくり推進委員会も実施されてる事業と思う。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	—
	④各種団体との連携	B	—	佐土原歴史同好会 鶴松館ガイドの会との連動で実施した。		事業継続の必要性		(有) ・ 無	
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>2年振りに地元的主要なお寺巡りが出来た説明役も当まちづくり協議会の会員の方が説明されてお互いに満足感を得られていました。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応		未・済	
		<p>&lt;地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応		未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### 伝統文化に係る事業

事業名	伝統文化伝承事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち 佐土原にある多くの歴史的史跡、伝統的文化を伝承するための方法を探る事業である。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域に伝承されている有形・無形文化財の保護活動に寄与し佐土原との関わりに触れより深い歴史認識を教授していく。また木城町、高鍋町、川南町の方々との交流を行ないます。</p>														
事業内容・手段	<p>研修視察 九州の戦国時代の代表的な戦いの地          時期 令和4年9月25日(日)➡11月13日(日)          場所 高鍋舞鶴城・比木神社・宗麟原供養塔          内容 島津の歴史認識を成就          *新型コロナウイルス感染症拡大防止で日程変更するも中止。          令和5年1月22日(日)再計画          20名の参加申込の中、受け皿の木城、高鍋、川南、の商工会と進めてたがインフルエンザ感染の為今期は中止とする。</p>														
事業費	2,400円														
対象者	地区住民 佐土原小学校区地域づくり協議会会員 鶴松館ガイドの会														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度 木城方面</th> <th>令和3年度 木城方面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度 木城方面	令和3年度 木城方面	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合 計	—	—
年 度	令和4年度 木城方面	令和3年度 木城方面													
一般参加者	—	—													
スタッフ	—	—													
合 計	—	—													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>移動手段がバスになる為と参加者及び相手方のガイドの方たちも高齢のため相互にリスクがあり中止とした。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
	本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	—	役員会にて今年度の研修視察の目的や考え方を整合した	⑤事業の周知	—	—	広報紙、部会等で参加呼び掛け実施
	②住民の参加	—	—			⑥課題解決への作用	—	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	—	—	事業の効果	⑦住民の満足度	—	—	事業継続の必要性
	④各種団体との連携	B	—			関係先（木城・高鍋・川南）の商工会、観光協会との事前計画書作成	有	
良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）＞				＜意見への対応＞	対応	未・済	
	＜地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）＞							＜意見への対応＞

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

地域教育に係る事業

事業名	学校との連携に関する事業	実施年数	14年目																																																
事業期間	開始：平成21年度																																																		
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活気があふれ、いきいきと働けるまち</li> <li>・郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</li> </ul>																																																		
目的 (期待される効果)	青少年の健全育成																																																		
事業内容・手段	<p>(1) 国際交流 5/1(日)、8/28(日)、9/25(日)、11/3(祝・木)、12/4(日) 多言語フォーラム(英語、中国語、ドイツ語など) やぎと触れ合いながら、外国人留学生と、文化・言語交流を行った。 会場：佐賀利地区 はまゆう牧場</p> <p>(2) 第16回 一年生との交流会 時期 令和4年6月28日(火) 会場 佐土原小学校 1年生に対し地域づくり協議会の活動等紹介した。 *勉強に使える文房具を持参</p> <p>(3) 駅伝大会 *新型コロナウイルス感染症拡大防止で中止。</p> <p>(4) 子ども神楽 年間を通して練習をし、祭り、成人式などに参加する 7/23/24佐土原夏祭り 11/13(日)巨田神社、愛宕神社秋祭りなど(神楽奉納) R5年1/8(日)佐土原中学校区成人式(神楽奉納) *舞の指導はまちづくり部員の方が実施してる。</p>																																																		
事業費	81,866円																																																		
対象者	小学校児童 児童保護者 老人会																																																		
参加者数 (内訳)	<p>(1) 国際交流</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ110人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ20人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ136人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 新一年生大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一年生</td> <td>32人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>36人</td> <td>43人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 駅伝大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 子ども神楽</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神楽関係者</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>地域役員</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	延べ110人	0人	スタッフ	延べ20人	0人	合 計	延べ136人	0人	年 度	令和4年度	令和3年度	一年生	32人	40人	スタッフ	4人	3人	合 計	36人	43人	年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合 計	—	—	年 度	令和4年度	令和3年度	神楽関係者	18人	18人	地域役員	4人	4人	合 計	22人	22人
年 度	令和4年度	令和3年度																																																	
一般参加者	延べ110人	0人																																																	
スタッフ	延べ20人	0人																																																	
合 計	延べ136人	0人																																																	
年 度	令和4年度	令和3年度																																																	
一年生	32人	40人																																																	
スタッフ	4人	3人																																																	
合 計	36人	43人																																																	
年 度	令和4年度	令和3年度																																																	
一般参加者	—	—																																																	
スタッフ	—	—																																																	
合 計	—	—																																																	
年 度	令和4年度	令和3年度																																																	
神楽関係者	18人	18人																																																	
地域役員	4人	4人																																																	
合 計	22人	22人																																																	
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の走る距離を短縮し開催予定でしたが小学生の元気で走る姿を見れないのは残念です。</li> <li>・巨田神楽は、伝統文化伝承のため、練習に真剣に取り組んでいる。</li> <li>・成人式にて皆様に御祝の舞を奉納でき恩師の方からも大変感激された報告も有りました。</li> </ul>																																																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	・地域挙げての声援が出来ず残念です	広報	⑤事業の周知	A	A	・教育部会での協議を実施した。 ・地区回覧文書作成自治会配布 ・広報紙掲載地区回覧
	②住民の参加	A	B	巨田神社大祭は、コロナ禍前のように開催された。			事業の 効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・まちおこし部を中心に各種団体との協業が出来た。	⑦住民の満足度				B
	④各種団体との連携	B	B	・駅伝大会開催に関してPTA、学校との連携を行い準備は出来た。 ・巨田神楽保存会との連携を実施した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・コロナ禍で一年生との交流会は地域づくり関係者が学校へ出向き実施した。 ・夏まつりで、巨田神楽を奉納したが例年以上のお客さんで大変な賑わいでした。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>  <意見への対応>			対応		未・済		
		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>  <意見への対応>			対応		未・済		

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### その他の事業

事業名	協議会講座事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：	年度												
地域魅力発信 プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活気があふれ、いきいきと働けるまち</li> <li>・郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</li> </ul>														
目的 (期待される効果)	佐土原町民の幅広い知識教養の熟成を行う														
事業内容・手段	<p>佐土原町民の方の豊かな技能、知識を広く指導していただく特に伝統芸能保存会によるいろは口説き、佐土原音頭は伝承したいものです。</p> <p>(1)いろは口説き踊り 7/6、14、15 延べ約50名  (2)アイシングクッキー 8/1 10名  (3)アロマサシェ作成 8/18 18名  (4)工作(椅子、表札) 8/20 計25名  (5)エンジョイ体操 9/3、10 延べ20名  (6)ホームページ運用 2/1 3名</p>														
事業費	37,610円														
対象者	地区住民 (子供から敬老者)														
参加者数 (内訳)	<p>講座(1)~(6) 計</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>126人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>26人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>152人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	126人	—	スタッフ	26人	—	合 計	152人	—
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	126人	—													
スタッフ	26人	—													
合 計	152人	—													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>コロナ感染者数により一部中止も有りましたが、今年度、宮崎県職業能力開発協会さんの協力を得て初めて椅子、表札を作成し大変喜ばれました。</p>														

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	初めての講座も出来、出来栄えに満足された	広報	⑤事業の周知	B	—	地区回覧チラシを作成し協議会講座の周知を行う	
	②住民の参加	A	—	伝統芸能は高齢者中心でしたが、他は子供さんから大人の方の参加で行った			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	地域の活性化に向けた活動に繋げる	⑦住民の満足度	A			—	椅子、表札作成は実用的に利用出来大変喜ばれていました
	④各種団体との連携	A	—	ものづくり体験教室を今後も活用出来るようお願いします			事業継続の必要性			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 新規講座ものづくり体験教室を初めて、中学校の工作室を開放頂き開催出来ました。またマイスターの方が熱心に教えて頂き参加者は自分で作った物に満足されていました								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 5月・ ）>  <意見への対応>					対応	未・済		
		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>  <意見への対応>					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



### 3 実施報告

#### その他の事業

事業名	広報事業	実施年数	14年目															
事業期間	開始：平成21年度	終了： 年度																
地域魅力発信プランとの関連	＜基本目標＞地域づくり協議会行事や地域の話題、情報を提供することにより活気あふれいきいきと働けるまちづくりに結び付ける																	
目的 (期待される効果)	地域づくり協議会の活動内容を的確に伝え各部の活動や地域の話題等情報伝達に努めたい。																	
事業内容・手段	<p>行事予定・報告・お知らせなど地域活動内容を担当した人へ原稿依頼し自前で編集、印刷し発行しています。</p> <p>年間3回発行を実施 300部～350部カラー印刷</p> <p>    No 67号 令和4年6月25日発行</p> <p>    No 68号 令和4年8月25日発行</p> <p>    No 69号 令和5年2月25日発行</p> <p>(今年度もコロナ禍で活動自粛の為話題性の少ない中の発行となる)</p> <p>●本年度は佐土原を更に知って頂くお手伝いとして「さどわら知る知る」シリーズの発行をおこなった。</p> <p>No1 ダンジリ喧嘩 No2彼岸花とさどわら五月会 No3関ヶ原の英雄の墓が佐土原にNo4 野田泉光院江戸時代の庶民の生活No5古月和尚.No6宝塔山は心のふるさとを全戸配布</p>																	
事業費	177,901円																	
対象者	佐土原小学校区地域づくり協議会会員 地区住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報部員</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>地域づくり部員</td> <td>6人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	広報部員	5人	5人	地域づくり部員	6人	—	事務局	2人	2人	合 計	13人	7人
年 度	令和4年度	令和3年度																
広報部員	5人	5人																
地域づくり部員	6人	—																
事務局	2人	2人																
合 計	13人	7人																
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>・コロナ禍で話題性が少ない中、佐土原にまつわる歴史上の人物や地域の名所、史跡などを調査研究されてる市民の方、例えば歴史部員や鶴松館ガイドの人にQ&amp;A方式で原稿を書いていただき広報紙（特別版）として発行した。</p>																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	協議会の行事予定を必ず載せるようにしている。各自治会の行事も紹介している	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会内広報紙回覧原稿募集による関心喚起
	②住民の参加	A	A	地域住民にもっと参加してもらえるよう記事の募集や行事参加の感想などを載せていきたい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域に密着した各種行事や開催タイミングに併せ記事を発行した。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	自治会長会 民生委員会 老人会 地区内自主団体（さつき会、郷土史、ガイドの会）			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・地域づくり協議会の事業を地区住民へ伝えるとともに、町民の方々へ佐土原に関する歴史や行事について詳細に皆様に伝え大変な反響が有りました。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

その他の事業

事業名	佐土原のまつり活性化事業	実施年数	12年目																																																												
事業期間	開始：平成23年度	終了：	年度																																																												
地域魅力発信プランとの関連	<p>&lt;基本目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活気があふれ、いきいきと働けるまち</li> <li>・郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち</li> </ul>																																																														
目的 (期待される効果)	佐土原町民のふれあいと活性化させる。																																																														
事業内容・手段	<p>(1) 佐土原花しょうぶまつり          時期 令和4年6月5日(土)          場所 宮崎市佐土原歴史館「鶴松館」一部「いろは館」で実施          内容 (野立て、コンサート、楽器演奏他) (2) 佐土原夏祭り</p> <p>(2) 佐土原夏祭り          時期 令和4年7月23日(土)、24日(日)          場所 本町通り          内容 (子供ダンジリ体験、いろは口説、ダンジリ喧嘩等)</p> <p>(3) 第一回まちなかコンサート          時期 令和4年10月15日午後18:30～ 石川工業巨田神社大祭</p> <p>(4) 巨田神社例大祭          時期 令和4年11月13日(日) 場所 巨田神社境内          内容 神楽奉納、せんぐまき等</p> <p>(5) 宝塔山公園桜まつり          時期 令和5年3月26日(日) 場所 宝塔山公園          内容 コン서트、クイズラリー、グラウンドゴルフ等</p>																																																														
事業費	320,747円																																																														
対象者	地区住民 佐土原町内外祭り来訪者																																																														
※	<p>(1) 佐土原花しょうぶまつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,170人</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,200人</td> <td>385人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 佐土原夏祭り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>3,000人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,045人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) まちなかコンサート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>78人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>86人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 巨田神社大祭</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>320人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>2人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>322人</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 宝塔山公園桜まつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>400人</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>445人</td> <td>385人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,170人	350人	スタッフ	30人	35人	合計	1,200人	385人	年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	3,000人	—	スタッフ	45人	—	合計	3,045人	—	年度	令和4年度		一般参加者	78人		スタッフ	8人		合計	86人		年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	320人	18人	スタッフ	2人	6人	合計	322人	24人	年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	400人	350人	スタッフ	45人	35人	合計	445人	385人
年度	令和4年度	令和3年度																																																													
一般参加者	1,170人	350人																																																													
スタッフ	30人	35人																																																													
合計	1,200人	385人																																																													
年度	令和4年度	令和3年度																																																													
一般参加者	3,000人	—																																																													
スタッフ	45人	—																																																													
合計	3,045人	—																																																													
年度	令和4年度																																																														
一般参加者	78人																																																														
スタッフ	8人																																																														
合計	86人																																																														
年度	令和4年度	令和3年度																																																													
一般参加者	320人	18人																																																													
スタッフ	2人	6人																																																													
合計	322人	24人																																																													
年度	令和4年度	令和3年度																																																													
一般参加者	400人	350人																																																													
スタッフ	45人	35人																																																													
合計	445人	385人																																																													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>住民主体の各種行事がほぼ計画通り実施できた。夏祭りも3年越しの実施で大勢の方が参加頂きました。          今年度古民家を活用しコンサートを実施しましたがアンコールの連呼やアンケート調査の結果次回も必ず計画してくださいとの声が有りました。</p>																																																														

◆自己評価（評価  A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	各祭りの実行委員会と地域づくり協議会が十分に話し合いをして役割分担を決めて取り組んでいる。	広報	⑤事業の周知	A	A	さどはら便りや地域づくり広報紙を通じ地域へのピーアールを実施した。
	②住民の参加	A	A	宝塔山公園桜まつりは3年ぶり開催で盛況でしたしコンサートも市内外からの参加がありました。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	B	実行委員会と地域づくり協議会が十分に話し合いをして役割分担を決めて取り組んでいる。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	夏まつり、桜まつりに際しては各団体と話し合いを行いながら計画を立案した。			事業継続の必要性		有 ・ 無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宝塔山公園桜まつりは他の会場が中止になる中、実行委員会（まちおこし部、宝塔山愛護会、さどわら五月会）などの地域づくり会員が中心になり手作りの桜まつりを開催した。</li> <li>・ 古民家コンサートでは民間のグループとプロの歌手の参加のもと実施し大変な盛り上がりでした。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>					対応	未 ・ 済	
		<意見への対応>						未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>					対応	未 ・ 済	
		<意見への対応>						未 ・ 済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### その他の事業

事業名	イルミネーション事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：年度													
地域魅力発信 プランとの関連	<基本目標>活気があふれ、いきいきと働けるまちづくり														
目的 (期待される効果)	佐土原町内外の人に対し夜の町に明るく飾り付けられたイルミネーションを見ていただく事により心を和んで頂く。														
事業内容・手段	佐土原地区交流センター内外にイルミネーションの飾り付けと点灯 11月26日(土) 飾り付け(中学3年生・教育部部員・交流センター職員) 12月3日(土) マスクデコ作成、芸能大会、クイズ、売店 12月3日～1月9日 18時～22時まで点灯 1月11日(水) イルミネーション撤収														
事業費	151,434円														
対象者	地域住民 国道219号線通行人														
参加者数 (内訳)	<p>※イルミネーション点灯式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>400人</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人(スタッフ) 42人(中学生)</td> <td>8人(スタッフ) 18人(中学生)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>450人</td> <td>376人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	400人	350人	スタッフ	8人(スタッフ) 42人(中学生)	8人(スタッフ) 18人(中学生)	合 計	450人	376人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	400人	350人													
スタッフ	8人(スタッフ) 42人(中学生)	8人(スタッフ) 18人(中学生)													
合 計	450人	376人													
住民の声(アンケートの結果等)	中学生のボランティア活動の一貫で沢山の生徒さんが参画してくれ色々な事にチャレンジしてくれました良い意味合いで記憶に残る事でしょう。 佐土原3地区(さどわら、那珂、広瀬北)のイルミネーション巡りをして来ましたが何れも工夫されており心が和みました。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	佐土原町の活性化のため冬に何かイベントはできないかという声を反映させた。	広報	⑤事業の周知	A	A	地区回覧チラシを作成し点灯期間や点灯式でのイベント情報など周知する。
	②住民の参加	A	A	イルミネーション準備から点灯式まで中学生も精力的に協力してくれた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域を活性化させるべく、イルミネーション取り付けから点灯イベントまで交流センターや地域づくりの協力を得た。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	佐土原地区交流センター 地区自治会 演芸団体 佐土原中学校 宮崎市城の駅		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>佐土原交流センター職員の方、地域教育部、中学生のボランティアとしての参画を得て飾付から点灯式典まで手作りの行事が開催できました。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応	未・済			
	<p>&lt;地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	子ども見守り隊事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	20,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	20,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	19,701	①子ども見守り活動 19,701円 見守り用レインコート 9着 19,701円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	19,701	

収支差額(A) - (B)	299
---------------	-----

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	地域防災訓練事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	20,000	
2			
3			
4	合計(A)	20,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	2,800円	①地域防災訓練 会議・打合せ用お茶100円×28本 2,800円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	2,800	

収支差額(A) - (B)	17,200
---------------	--------



(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	高齢者世帯への奉仕事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	20,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	20,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	19,910	①一人暮らし高齢者訪問 19,910円 タオル 110円×170枚 18,700円 タオルを入れる袋 110円×11個 1,210円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	19,910	

収支差額(A) - (B)	90
---------------	----

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	認知症サポート事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	30,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	30,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	①認知症サポート 6,000円
			認知症サポーターキャラバンお礼 500円×12名 6,000円
2	需用費	4,800	①認知症サポート 4,800円
			参加者お茶 100円×48本 4,800円
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	10,800	

収支差額(A) - (B)	19,200
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	施設訪問事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	10,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	10,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	2,400	①福祉施設訪問 2,400円 会議・打合せ用お茶100円×24本 2,400円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	2,400	

収支差額(A) - (B)	7,600
---------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	里山保全事業
-----	--------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	90,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	90,000	

(2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	5,000	①愛・さどわら宝塔山(クリーン大作戦) 5,000円
			公園内ベンチ補修作業 1,000円×5時間 5,000円
2	需用費	56,247	①愛・さどわら宝塔山(クリーン大作戦) 56,247円
			手押し噴霧器、研磨の刃、釘 3,520円
			チップソー 6枚 6,000円
			除草剤 2本 1,800円
			ウレタン背抜き手袋30双 3,196円
			参加者お茶 24本入り1箱 1,650円×2箱 3,300円
			参加者お菓子 46名分 11,091円
			参加者景品 46名分 22,940円
混合油 20ℓ 4,400円			
3	使用料及び賃借料	8,000	①愛・さどわら宝塔山(クリーン大作戦) 8,000円
			軽トラック使用料 2,000円×4名 8,000円
4	合計(B)	69,247	

収支差額(A) - (B)	20,753
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	佐土原歴史観光発信事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	242,374	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	242,374	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
2	賃金	14,000	①史跡調査 14,000円
			史跡整備 1,000円×14時間 14,000円
3	需用費	97,167	②史跡整備 22,477円
			エア用コード、チップソー5枚、ナイロンC他 12,487円
			混合油10缶 15個 6,655円
			お菓子・お茶代 延べ10名分 3,335円
			③佐土原城址等整備 74,690円
			竹用のこぎり10本、針金、手袋50双、レジ袋他 23,392円
佐野原聖地除草剤 500ml×2個、わら縄大巻 3,458円			
堤地区桜並木除草剤 4,935円			
参加者お茶・お菓子50名分 9,388円			
参加者景品63名分 33,517円			
4	役務費	2,220	③佐土原城址等整備 2,220円
			保険 チェンソー1,110円×2名分 2,220円
5	使用料及び賃借料	11,000	③佐土原城址等整備 11,000円
			草刈り機使用料(野田泉光院碑周辺の草刈) 2,000円
			軽トラック使用料(佐野原聖地草刈) 1,000円
チェンソー使用料2,000円×4台 8,000円			
6	備品	48,500	③佐土原城址等整備 48,500円
			カメラ Nikon COOLPIX B600 RD 48,500円
7	合計(B)	172,887	

収支差額(A) - (B)	69,487
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	健康づくり事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	130,000	
2		0	
3			
4	合計(A)	130,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	8,600	①ウォーキング大会 8,600円
			ガイド料 2,000円×3名 6,000円
			大光寺 拝観お礼 2,600円
2	需用費	38,183	①ウォーキング大会 38,183円
			インク1箱、カラーコピー用紙3冊 9,464円
			参加景品 50名分 15,019円
			部員・ガイド昼食代 600円×19名 11,400円
			会議用お茶代 100円×23本 2,300円
3	役務費	1,500	①ウォーキング大会 1,500円
			保険料 50円×30名 1,500円
4		0	
5			
6			
7			
8	合計(B)	48,283	

収支差額(A) - (B)	81,717
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	伝統文化伝承事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	100,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	100,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	2,400	①研修視察 2,400円 打合せ・会議用お茶 100円×24本 2,400円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	2,400	

収支差額(A) - (B)	97,600
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	学校との連携に関する事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	140,000	
2			
3		0	
4	合計(A)	140,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	81,866	①国際交流	8,432円
			景品代	8,432円
			お茶 100円×24本、49円×48本 お茶24本入り1,600円×2箱、みかん他	
			②一年生との交流会	34,318円
			一年生景品 32個	30,800円
			他参加者景品 559円×2個	1,118円
			会議用お茶 100円×24本	2,400円
④子ども神楽		39,116円		
	練習用お茶、お菓子、お弁当他	36,116円		
	バンドエイド、消毒液、トイレトペーパー	3,000円		
2				
3				
4				
5				
6	合計(B)	81,866		

収支差額(A) - (B)	58,134
---------------	--------



(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	協議会講座事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	50,000	
2			
3			
4	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	30,500	①協議会講座 30,500円
			いろは口説き踊り講師料 5,000円(2時間)×3回 15,000円
			アイシングクッキー講師料 5,500円(2時間)×1回 5,500円
			体操 講師料4,000円×2回、助手2,000円×1回 10,000円
2	需用費	7,110	①協議会講座 7,110円
			アロマサシェ材料費 7,110円
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	合計(B)	37,610	

収支差額(A) - (B)	12,390
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	広報事業
-----	------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	235,000	
2			
3		0	
4	合計(A)	235,000	

(2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	8,937	①広報紙作成 8,937円
			執筆料 18名分 8,937円
2	需用費	69,964	①広報紙作成 69,964円
			コピー用紙A4 5,000枚 3,190円
			トナーカートリッジ 8個 48,400円
			インクボトル 4個 6,074円
			リソグラフィンク 2本 6,600円
			会議・打合せ用お茶100円×57本 5,700円
3	備品	99,000	①広報紙作成 99,000円
			ノートパソコンDELL 99,000円
4			
5			
6			
7	合計(B)	177,901	

収支差額(A) - (B)	57,099
---------------	--------

(様式第6号)

## 事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	佐土原のまつり活性化事業
-----	--------------

## (1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	370,000	
3	合計(A)	370,000	

## (2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	40,095	③まちなかコンサート 35,095円 出演者へ謝礼(4団体) 35,095円 ⑤宝塔山公園桜まつり 5,000円 日赤謝礼 5,000円
2	需用費	260,652	①佐土原花しょうぶまつり 43,052円 チラシ用カラーペーパー6冊 3,762円 缶バッジマシン(44mm)、製作キット500個 14,390円 スタンプラリー景品100名分 14,700円 部員昼食代600円×13名 7,800円 会議用お茶100円×24本 2,400円 ②佐土原夏祭り 75,274円 ワイヤレスマイク2本、ワイヤレスマイク受信機1個 29,700円 スタンプラリー景品 400名分 31,000円 子どもダンジリ体験景品 約100名分 14,574円 ③まちなかコンサート 24,332円 マイクケーブル3本、スタンド2本、 24,332円 ④巨田神社秋祭り 43,296円 SDカード2個、カラーペーパー100枚 3,489円 神楽用小物材料費、神楽衣3着、足袋4足 18,934円 神楽舞手景品20名分 10,987円 せんぐまき用お菓子 9,886円 ⑤宝塔山公園桜まつり 74,698円 缶バッジピンボタン500個、アーチェリー2個 11,920円 スタンプラリー100名、ステージ45名景品 28,035円 風船プレゼント約200名、せんぐまき 18,543円 役員・ボランティア昼食代600円×21名 12,600円 打合せ・会議用お著 100円×36本 3,600円
3	委託料	15,000	③まちなかコンサート 15,000円 音響委託料 10,000円 会場設営委託料 5,000円
4	使用料及び賃借料	5,000	③まちなかコンサート 5,000円 会場使用料 5,000円
5	合計(B)	320,747	

収支差額(A) - (B)	49,253
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区  
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	イルミネーション事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	150,000	
2			
3		0	
4	合計(A)	150,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	147,543	①装飾 87,565円
			イルミネーション
			ナイアガラカーテンライト2個 43,560円
			ストレート360球 2,880円
			テープライト 2個 5,960円
			つらら、毛玉ポンポン1個 6,940円
			手作りイルミネーション材料費
			プラスチックダンボールハウス 8143円
			役員・ボランティア28名 お茶・お菓子・景品 20,082円
			②点灯式 59,978円
ステージ参加者46名景品 13,800円			
工作材料費(マスクデコ、リース作り) 6,449円			
役員・ボランティア景品 16,500円			
600円×22名、300円×11名景品			
4,000円			
風船・光るブレスレットプレゼント 2,909円			
スタンプラリー100名景品 16,320円			
2	使用料及び賃借料	3,891	①装飾 3,891円
			電気使用量(R4.12.3~R5.1.9 38日間) 3,891円
3			
4			
5			
6	合計(B)	151,434	
収支差額(A) - (B)		-1,434	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 年 月 日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町上田島1389  
名 称 佐土原小学校区地域づくり協議会  
代表者の氏名 会長 上田 克彦  
電 話 番 号 0985-74-3471

令和4年 5月27日付で交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において 489,388円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰 越 金 内 訳

基礎交付金 489,388円  
特例交付金 0円

添 付 書 類

令和4年度収支決算書